

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トウ・ミー

To Me

9

Sep 2026
Vol.376



【今月の表紙】

六月祭、登米市神輿祭

(関連記事12ページ)

【特集】

読み聞かせが育てるもの

【ときめき人】

平井 和也 さん

— CONTENTS —

- P 2 読み聞かせが育てるもの
- P 8 今月のお知らせ
- P12 ホットライン
- P14 市民の広場
- P16 健康に関する情報
- P18 情報広場
- P24 ときめき人



特集

読み聞かせが 育てるもの

優しくページをめくる音。
物語を語る声に、じっと耳を
傾ける小さなまなざし――

読み聞かせの時間は、読む人
と聞く子どもの心を結ぶ、か
けがえのないひとときです。
子どもの頃に出会った物語
は、言葉の力だけでなく、人を
思いやる心や想像する力を育
んでくれます。

広がりを見せている、家庭や
地域での読み聞かせの輪。今
号では、その魅力や効果、そし
て活動に関わる人たちの思い
を紹介します。



読む人も聞く人も 心豊かな時間

言葉の力を育てる

絵本には、豊かな表現が
たくさん詰まっています。
赤ちゃんは、語りかけの中
で言葉を覚えていくといわ
れています。読み聞かせの
後に、「これはキリンだよ。
首が長い動物だね」「この赤
くて丸いのはリンゴ。おい
しそうだね」などと語りか
けられることで言葉を覚
え、自分の気持ちを言葉に
する力も育っていきます。
読んでもらうことで、自

然に生の声や、新しい言葉
に触れ、表現が豊かになる
のです。

想像する力を広げる

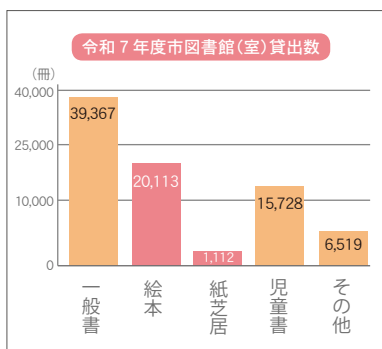
絵本の世界に触れること
で、子どもたちは登場人物
の気持ちや物語の続きに思
いを巡らせます。「この後、
どうなるかな」「この子はど
んな気持ちだろう」。自分の
中で場面を思い描く時間
は、考える力や想像力を育
む大切な経験になります。

テレビや動画と違い、自
分の中でイメージを膨らま
せることができるのも、絵
本ならではの魅力であり、
楽しさでもあります。

人と人とのつながりが 心の安らぎに

絵本は、一人で読むこと
もできますが、読んでもら
うことで、より心の安らぎ
を感じることができます。
読み聞かせは、子どもが大
人と同じ時間を過ごす触れ
合いの時間となり、子ども
にとって大きな安心感につ
ながります。また、読み手
である大人も、絵本の世界観
を感じながら、子どもと同

じ時間を過ごすことで気持
ちが落ち着き、心が豊かに
なります。
こうした絵本との出会い
や、読み聞かせの機会は、家
庭や地域の中でも広がりを
見せています。市図書館で
は、絵本が一般書に次いで
利用が多く、子どもたちの
身近な読書活動を支えてい
ます。



家庭でも気軽に一冊

— 今日から読み聞かせをはじめてみませんか —

☑ 短い時間で大丈夫

空いている時間や睡眠前の5分など、無理なく続けられる時間を見つけてみましょう。

☑ 最後まで読めなくても大丈夫

途中で別のページを見たがることも自然なことです。

☑ 子どもが選ぶ本を大切に

同じ絵本ばかりでも問題ありません。お気に入りの本を繰り返し読むことも成長につながります。

☑ 小学生にもぜひ

読んであげることで、感情や雰囲気は自然に受け取れるようになります。



子どもや読む人が読みたい本、読みやすい本、絵がかわいいなど、好きな本を選んで、ぜひ気軽に始めてみましょう

絵本選びのヒント — 図書館司書に聞きました —

- 0～2歳 ■「だるまさんが」(作:かがくい ひろし、出版社:ブロンズ新社)
最後まで聞けるかより「楽しかったね」という体験を大切にしましょう。
- 3～5歳 ■「ねないこだれだ」(作・絵:せな けいこ、出版社:福音館書店)
言葉や考える力が育っていく時期です。「どうしてかな」「次はどうなるかな」と親子で会話を楽しんでください。
- 小学生 ■「おいしいのぼうけん」(作:ふるた たるひ・たばた せいいち、出版社:童心社)
物語の楽しさを味わえる時期です。主人公の気持ちに共感したり、応援したりして、絵本の世界に引き込まれていきます。



図書館からのお知らせ



絵本の世界へようこそ

迫図書館では、おはなし会を開催しています。絵本の世界で、一緒にワクワクしませんか。

●おはなし会

【日時】第1・3土曜日／午前10時30分～11時

●赤ちゃんおはなし会

【日時】第4水曜日／午前10時30分～11時

●共通事項

【場所】迫図書館 白鳥ライブラリー・爽陽2階

【読み手】図書館ボランティア「だっこ・ラッコ」

※予約は不要です。どなたでも参加できますので、当日会場にお越しください

【問い合わせ】迫図書館 白鳥ライブラリー・爽陽

☎0220(22)9820

●「はじめての絵本セット」貸し出し

絵本を通じて親子で楽しい時間を過ごしてもらえるように、絵本セット(5冊)を貸し出しています。貸し出し中に破いたり汚したりすることを心配せずに利用でき、家族みんなで一緒に楽しめる内容です。ぜひご利用ください。

【対象】乳幼児の保護者

や祖父母など

【貸出期間】2週間

※来館してA～Eの5セットから選んでください

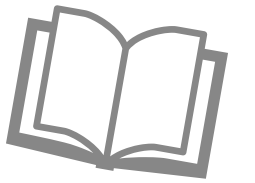
【問い合わせ】登米図書館

☎0220(52)5330



市公式HP「図書館」

子どもたちに届けるおはなしの時間



子どもたちが見つめる先には、心を込めて絵本を読むボランティアの皆さんの姿があります。本市では、多くのボランティアが学校や地域で活動し、子どもたちへ絵本の楽しさを届けています。迫図書館を拠点に25年活動が続けている「だっこ・ラッコ」の富士原抄子さんに、読み聞かせの魅力や活動への思いを聞きました。

絵本の楽しさを届けたい

私たち「だっこ・ラッコ」は、平成13年度の図書館ボランティア講座での出会いをきっかけに設立し、図書館でのおはなし会やブックスタートのお手伝いなど、絵本の楽しさを子どもたちに届ける活動を続けています。

読み聞かせをしていて一番うれしいのは、子どもたちの目がキラキラする瞬間を見ることです。最初は落ち着かない子も、おはなしが始まるとだんだん物語の世界に引き込まれていくんです。読んでいるうちに、みんながこちらを見てくれたときは、心の中で「やった!」とうれしくなります。

私たちは何より本が好きで、絵本が大好きなんです。本は心の栄



図書館ボランティア
「だっこ・ラッコ」
富士原 抄子 さん

養だと思っていますし、物語は人生の先生だとも思っています。だから、子どもたちにも本を好きになってもらいたいと願っています。

初めての絵本との出会いを大切にしたい

市が、生後4、5カ月の乳児健診で絵本2冊をプレゼントするブックスタート事業を実施していて、私たちは初回から参加しています。絵本に触れる機会や、絵本を通して親子が向き合うきっかけを届けていて、読み聞かせをして赤ちゃんが音やリズムを楽しんでいる様子を見ると、とてもうれしくなります。市の未来を担う子どもたちのために、これからも大切にしていきたい活動です。

今後も温かい輪を広げたい

どこの団体でも同じだと思いますが、活動を続けていくのは簡単ではありません。でも最近では、新しい読み聞かせ団体や、学校で朝の読み聞かせ活動をする仲間が増えてきました。同じ思いを持つ仲間が地域で活動しているのは本当にうれしいことです。これからも絵本を通して、子どもたちに読んでもらう喜びや物語の楽しさを届けていきたいです。



1「おはなし会」では、メンバーが絵本や紙芝居、パネルシアターなどで物語を伝えている。2ブックスタートでは、音やリズムを大切に、赤ちゃんにも分かりやすく読み聞かせている

絵本から広がる 優しい時間



「絵本を開く時間が、皆さんにとって優しいひとときになればうれしいです」。そう語るのは、迫図書館で図書館司書をしている野家文恵技術主幹。日頃から子どもたちと絵本に接する司書の視点から、読み聞かせの魅力や家庭で大切にしたいことを聞きました。

「好き」の気持ちを大切に

「この本が好き」という気持ちは、子どもにとってもとても大切なものです。同じ絵本を何度も読んでほしいと持つてくることがありますが、それは物語や言葉を楽しんでいる証拠です。「またこの本？」と思わずに、その気持ちを受け止めてあげてください。好きな一冊を楽しむことも、言葉や想像力を育て、本への親しみにつながっていきます。

楽しみ方は十人十色 一人一人の個性を大切に

保護者の皆さんからは、「どんな本を選べばいいですか」「最後まで聞いてくれませんか」といった相談



迫図書館
野家 文恵 技術主幹

をよく受けます。でも、一人一人興味や成長のペースは違うので、正解は一つではありません。最後まで読めなくても大丈夫です。ページを行ったり来たりしながらでも、一人一人のペースで絵本を楽しんでいます。大切なのは、親子で一緒に絵本を開く時間です。

絵本と過ごすひととき

読み聞かせに特別な準備は必要ありません。短い時間でも、一冊だけでも大丈夫です。親子で一緒に物語を楽しむことが大切で、その積み重ねが、子どもの言葉や想像力を育み、温かな思い出を残してくれます。気負わず、それぞれの家庭らしい読み聞かせの時間を楽しんでいただけたらうれしいです。



「おはなし会」、「赤ちゃんおはなし会」、「ブックスタート」、「読み聞かせサークルおおきな木」「読み聞かせコンサート」。読む人も、聞く人も、物語の世界へ。

まなざしの その先に――

ゲームやスマートフォン、動画サイトが日常に溶け込み、子どもたちがデジタル画面に触れる時間が増えている今。そんな時代だからこそ、本を開いた時の感触や、紙の香り、そして、ページをめくりながら広がる絵本の世界は、暮らしの中にほっとした安らぎと優しい時間をもたらしてくれます。

読み聞かせは、絵本の世界を声で伝え、子どもたちに優しさあふれる時間を届けてくれます。誰かの声に包まれて、物語の中で笑ったり、ドキドキしたりする感覚は、子どもたちの豊かな想像力を刺激し、心を優しく満たしてくれます。そして、同じ空間で一緒に過ごすこの時間は、世代や背景を超え、子どもも大人も心をほっと和ませる瞬間です。

絵本を通して生まれる笑顔や弾む会話は、これからの登米市を担う子どもたちはもちろん、地域で見守る大人の心も豊かにしてくれるはずです。暮らしの中に絵本が寄り添い、読み聞かせの輪がこれからも広がっていくことを願っています。



1 図書館には、たくさんの絵本が並ぶ 2 施設見学で図書館を訪れた子どもたちに読み聞かせを実施 3 探している本と一緒に探す野家技術主幹



チャンピオン賞を受賞した、ゆりひめ号/富栄隆さん(右)

市畜産共進会が7月3日(金)、南方畜産物集出荷場で開催されました。共進会は、地域の家畜改良意欲の高揚や、飼養管理技術の向上と普及に努めることを目的に毎年開催しており、今年は延べ38頭が出品されました。上位入賞牛は県共進会の出品牛候補になります。結果は次の通りです。(敬称略)

【チャンピオン賞】ゆりひめ号

富栄隆(米山町)

【最優秀賞】▼1区(若雌の1)

※とりのさん号/佐藤浩康(迫町)▼2区(若雌の2)※みつば号/小野寺正人(迫町)▼3区(経産)※ゆりひめ号/富栄隆(米山町)▼4区(高等登録群)※迫町和牛改良組合(らむね号、すぶらいと号/チバズファーム)

【団体賞】第1位※迫町和牛改良組合、第2位※米山町和牛改良組合、第3位※中田町和牛改良組合

●県総合畜産共進会

【日時・場所】①肉用牛の部

9月5日(土)／みやぎ総合家畜市場(美里町)②乳用牛の部

9月29日(火)／みやぎ総合家畜市場(美里町)③肉豚の部

10月23日(金)／宮城県食肉流通公社(米山町)

【問い合わせ】▼産業経済部農政課(畜産振興係)

0220(34)2713

▼宮城県畜産協会(経営支援課)

022(298)8473



市公式HP「第19回登米市畜産共進会」

01 新しい医療費助成受給資格者証を送付します

障害者医療費助成および母子・父子家庭医療費助成受給資格者証の有効期間は、その年の10月1日から翌年9月30日までの1年間です。

受給要件を満たす人には、新しい受給資格者証を9月下旬に送付します(手続き不要)。また、所得制限限度額を超えたことなどにより、受給要件を満たさなくなった人には、その旨をお知らせします。

障害者医療費助成の所得制限限度額

扶養親族等の数	障がい者が20歳以上の場合の本人の限度額
0人	3,758,000円
1人	4,138,000円
2人	4,518,000円
3人	4,898,000円
4人	5,278,000円
5人	5,658,000円

【更新に手続きが必要な人】▼所得の申告が済んでいない場合※確定申告、住民税の申告をしてください▼転入や単身赴任などにより、市で所得情報を確認できない場合※同意書(マイナンバーによる情報照会)、または所得証明書(扶養人数や税控除額が分かるもの)を提出してください

●所得制限限度額の引き上げ

障害者医療費助成の所得制限限度額が10月1日から次のとおり引き上げになります。

※その他、令和7年税制改正



市公式HP「障害者医療費助成について」

02 まだ使える家具をリユースしませんか

ごみの減量化と家具のリユース(再利用)を推進するため、家庭で使わなくなった家具を市が引き受け、希望者に提供します。

●家具の引き受け

【対象品目】修理を必要としない家具20個程度(食器棚、本棚、学習机など)

【申込期間】8月21日(金)～10月9日(金)

※電話で申し込みの上、クリーンセンターに直接搬入してください

※処分手数料(10キロ当たり70円)の納付が必要です

※家具の状態によってはクリーンセンターで処分します

●家具の引き渡し

【申込期間】10月16日(金)～11月27日(金)

※電話、メールまたはクリーンセンターで直接申し込み

【注意事項】▼申し込みは18歳以上の人で1世帯2個まで▼営利目的・転売目的の申し込みは不可▼家具は市公式ホームページで写真と併せて紹介

します。状態などを直接確認したい場合は、電話で事前連絡

05 市内施設の指定管理者を募集

公の施設を管理運営する指定管理者(団体)を募集します。

※個人は応募できません

【募集施設・指定期間(予定)】

下記の通り

【申請期限】9月7日(月)午後5時

【募集要項・申請書】指定管理者を募集する施設の担当部署で配布します

06 高齢者世帯の省エネ家電購入を補助

物価高騰による高齢者世帯の経済的負担軽減や健康被害予防、温室効果ガスを削減するため、省エネ性能の高い冷蔵庫またはエアコンの購入費用の一部を補助します。

【補助対象期間】9月1日(火)～令和9年1月31日(日)

【対象世帯】補助対象期間中に市内に住所があり、現に居住している65歳以上の高齢者のみの世帯であって、市税に滞

絡の上、クリーンセンターまでお越しください▼希望者が複数の場合は12月4日(金)に事務局で抽選します

【引渡期間】12月7日(月)～25日(金)

●共通事項

【対応時間】午前9時～11時50分、午後1時～4時

※平日のみ対応(土日、祝日を除く)

※詳細は、市公式ホームページを確認するか問い合わせください

【問い合わせ】環境事業所廃棄

03 道路占用料の一部改定について

近年の地価の状況を踏まえ、道路占用料を定める登米市道路路占用料条例を6月に改正しました。この改正は、7月1日から適用しています。

※変更後の単価などの詳細は、市公式ホームページを確認するか問い合わせください



市公式HP「令和8年7月1日から道路路占用料の一部改定します」



市公式HP「粗大ごみ(家具)のリユース(再利用)事業について」



物対策課(廃棄物対策係)

0225(98)4372

【問い合わせ】建設部建設総務課(管理係)

0220(34)2365

募集施設一覧

施設の名称	指定期間(予定)
登米市登米総合体育館 登米市登米総合運動公園 登米市登米武道館	令和9年4月1日 ～ 令和14年3月31日
登米市吉田運動場 登米市中津山運動場 登米市米山テニスコート	令和9年4月1日 ～ 令和11年3月31日



市公式HP「指定管理者制度」

3.0以上に、市への事前予約と申請が必要で、補助金申請額の総額が予算に達した時点で受け付けを終了します

【補助金額】家電本体購入価格(税抜)の2分の1以内(上限3万円)

【受付期間】9月1日(火)～令和9年1月29日(金)

※詳細は問い合わせください

【予約・申請・問い合わせ】市民生活部環境課(環境政策係)

0220(58)5553

▼各総合支所(地域振興係)

18～23ページ上部参照

「令和8年度登米市優良工事施工業者等表彰式」が7月24日(金)、市消防防災センターで開催されました。この表彰は、他の模範となる工事の施工業者と技術者を表彰することにより、施工意欲を高め、工事の質的向上を図ることを目的に実施しています。

令和7年度完成の市発注工事から13件を選出し、施工業者9社、技術者13人が表彰されました。

【登米市優良工事施工業者等表彰】施工業者(代表者名) 技術者名(敬称略) 及川工務店(千葉茂明) 千葉和正 佐々重 佐々木秀敏 後藤俊幸 渡辺和良 大伸建設(佐藤剛) 高橋章喜 大石輝 鈴木克弥 高節土建(高橋力) 高橋和幸 登米建設(佐藤哲也) 佐々木浩二 日建工業 営業所早坂浩明 鈴木陽大 ▼メディアオークラ(只野主祐) 渡辺和則 渡辺商事(渡辺潤) 三嶽俊幸 渡辺土建(渡辺光太郎) 佐藤勝博、渡邊寛治

【問い合わせ】契約検査室(検

09 市電子申請サービスでオンライン決済が可能に

「登米市電子申請サービス」は、証明書発行の申請や各種届け出などを、パソコンやスマートフォンから電子的に手続きできるサービスです。

電子申請サービスを利用した各種証明書の発行手数料などについて、7月15日からオンライン決済(クレジットカード払い)が可能になりました。これにより、24時間365日、いつでもどこでも手続きができ、発行した証明書は郵送で自宅に届きます。

【対象の証明書】所得証明書、課税証明書、非課税証明書、納税証明書、軽自動車税納税証明書(車検用)、評価証明書、公課証明書、課税台帳登録事項証明書、戸籍謄本、戸籍抄本、戸籍附票の謄本、戸籍附票の抄本、住民票謄本、住民票抄本、身分証明書、独身証明書 ※一部の証明書はマイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービスでの発行も可能です。

【料金】発行手数料+郵送料(普通郵便、速達、レターパックから選択)

※対象の証明書の発行申請にはマイナンバーカードと、マイナンバーカード読み取りに対応したスマートフォン、クレジットカード番号、「マイナサイン」アプリが必要です ※詳細は、市公式ホームページを確認するか問い合わせください

【問い合わせ】登米市電子申請サービスに関するお問い合わせ 〆まちづくり推進部DX推進室(DX推進係) 〆0220(23)7367 ▼住民基本台帳、戸籍関係証明書に関するお問い合わせ 〆市民生活課(戸籍係) 〆0220(58)2118 ▼税関係証明書に関するお問い合わせ 〆総務部税務課(市民税係) 〆0220(22)2163

マイナンバーカードで便利に証明書発行

市公式HP「電子申請サービス」

07 優良工事の施工業者、技術者を表彰



査係) 〆0220(22)2097

市公式HP「登米市優良工事施工業者等表彰について」

08 親子で楽しむ登米市こどもまつり

「みんなで育てようスマイル・とめっこ登米市の子!!」をテーマに、親子で楽しめる催しを多数用意しています。

【日時】9月27日(日)午前10時〜午後2時30分(受付時間 午前9時30分〜午後2時)

【場所】水の里ホール・Abelison(登米祝祭劇場)

【入場料】無料

【イベント内容】

- 大ホールイベント 童謡コンサート、マジックショー
- 小ホールイベント 遊び・体験コーナー(製作、忍者ランド、おもちゃライブラリー、えほんひろばなど)
- ホワイエ2階、和室 ボランティアによる手遊び・絵本読み聞かせ、各施設のパネル展示(市内保育所(園)、こども園、幼稚園、児童館、子育てサポートセンター等の子育て支援関連施設)
- 視聴覚センター2階 社会福祉協議会おさがりコーナー
- フードコーナー(屋外テント) パンなどの食品の有料販売

●その他 市民バス・消防車・パトカー! 自衛隊の車両展示、看護協会・登米市民病院のコーナー、どん菓子実演、ピエロパフォーマンス、はっとんなかよし撮影会、記念グッズと景品がもらえるスタンプラリーなど

【問い合わせ】南方子育てサポートセンター 〆0220(58)5558

登米市 公式LINE

イベント・観光情報が見れる!

- ・博物館の特別展示
- ・映画観賞会
- ・ワークショップ
- ・カヌー教室
- ・野球観戦招待
- ・料理教室 など

その他にも…

- ✓ 防犯・防災
- ✓ ごみ収集の定時配信
- ✓ 健康・福祉
- ✓ 子育て など

欲しい情報だけを選んで受け取れる!

友だち大募集中とん!

登録は右の二次元コードまたはLINEの友達登録からIDで検索

@tomeCity

登米市観光PRキャラクターはっぴん

【問い合わせ】総務部市長公室(広報広聴係) 〆0220(22)2090



令和7年度こどもまつりの様子

「もしも」の時に備えて 防災だより vol.5 命とくらしを守る

災害時に優先して開設する「開設予定避難所」

避難所は、避難者が災害の危険がなくなるまで一定期間滞在したり、災害により自宅へ戻れなくなった人が一時的に滞在したりする施設です。

市は、市内の公民館や学校などを避難所として指定しており、そのうち44カ所を優先して開設する「開設予定避難所」として定め、市公式ホームページ上で公開しています。発災時には、災害の発生場所や種類、規模などに応じて、「開設予定避難所」の中から優先的に避難所が開設されるため、平時から確認しておくことが大切です。場所などの詳細は、市公式ホームページを確認するか問い合わせください。

避難所の開設状況は、緊急告知ラジオや防災行政無線のほか、市公式LINE・市メール配信サービスなどでもお知らせします。災害時に素早く情報を取得するためにも、事前の登録をお願いします。

避難情報が発令されましたら、迅速な避難行動をお願いします。なお、水や食料、毛布など、避難所

などでの生活に必要な物は事前に準備しておき、避難の際は持参してください。

【問い合わせ】総務部防災危機対策室(防災計画係) 〆0220(23)7393



警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1
＜警戒レベル4までに必ず避難!＞			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難※2
2	災害状況変化	自らの避難行動を確認する	大雨・土砂災害・氾濫・高潮注意報(気象庁)
1	今後災害状況変化の恐れ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。また、警戒レベル相当情報(災害発生情報、土砂災害警戒情報など)が発令されたとしても、必ずしも同時に同じレベルの避難情報が発令されるものではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者や障害のある人、妊産婦、乳幼児連れの人など、避難に時間がかかる人は避難を開始するタイミングです。それ以外の人も、必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

内閣府 新たな避難情報 ポスター・チラシより

多世代が銀牙に興奮 石ノ森記念館で特別企画展

石ノ森章太郎ふるさと記念館特別企画展「高橋よしひろ 銀牙－流れ星銀－の世界展」の開催に合わせ、7月20日に高橋よしひろさんのサイン会が開かれ、350人以上の応募の中から選ばれた50人が参加しました。

企画展では、日本のみならず海外でも支持を集めている本作品の迫力ある原画の数々を多数展示。サイン会当日には、作者に一目会おうと、幅広い世代のファンが詰めかけました。サイン会に当選した石川理美さん＝栃木県＝は「幼稚園の時にビデオを借りて見ていました。仲間たちとの友情や絆に子どもながらに感動していたので、うれしかったです」と笑顔を見せました。



来場者は、作品への思いを語り合いながら順番を待ち、サインをもらった後は、高橋よしひろさんと記念撮影していました。

夢をかなえる第一歩 市内企業が集まり説明会

「登米市就職ガイダンス」が7月2日、エスビー食品とよま蔵ジヤムで開かれ、48の企業・団体と市内外の高校生や大学生、一般求職者など約400人が参加しました。

就職ガイダンスは、市内企業への理解を深めてもらい、優秀な人材の確保や若者の就職支援、定住促進を目的に開催。及川日海翔さん＝佐沼高3年＝は「市内での就職を希望しているので参加しました。説明を聞いて、夢をかなえるために今やるべきことが明確になったので、もっと緊張感を持って勉強に取り組んでいきたいと感じました」と将来の夢に向かって意欲を新たにしていました。



参加者は、企業の担当者から仕事の内容や魅力について説明を受け、熱心にメモを取りながら将来について考えていました。

中学生が考える未来 地球温暖化について学ぶ

「ゼロカーボンシティとめジュニアミーティング」が7月22日、中田農村環境改善センターで開催され、市内の中学生29人が参加しました。

ジュニアミーティングは、2050年カーボンニュートラル実現のため、次世代を担う子どもたちの関心と理解を深めていくことを目的に開催。宮城教育大学教授の棟方有宗さんによる記念講演の後、グループに分かれて意見を出し合いました。千葉琉希弥さん＝中田中3年＝は「改めて地球温暖化のことを考える機会になりました。今後は家のエアコンの設定温度を下げすぎないように気を付けたいと思います」と話しました。



参加した学生たちは、グループで意見を交わしながら、地球温暖化や未来のために自分たちにできることを考えていました。

地域守る心意気示す 登米市消防団演習を開催

「令和8年度登米市消防団演習」が7月5日、長沼フートピアトヨテツの丘公園で実施され、市内9支団から約500人の団員が参加しました。

演習は、消防団員の技術向上と士気高揚を目的に開催。通常点検や機械器具点検、女性分団の軽可搬ポンプ操法訓練、代表3支団による小型ポンプ操法などが実施され、団員らは日頃の訓練の成果を披露しました。小型ポンプ操法で優勝した米山支団の佐々木昭彦班長は「指導者や先輩たちのアドバイスのおかげで1位を獲得できました。今後も消防技術の向上に努め、地域防災に貢献していきたいです」と話していました。



演習の締めくくりには、参加した団員全員による分列行進を実施。地域の安全・安心を守る決意を胸に、力強く行進しました。

家族で挑戦木琴作り 市内産材使った木工体験

「登米の森ワークショップ親子木工教室」が7月25日、石森ふれあいセンターで開かれ、市内外から集まった小中学生とその保護者45人が参加しました。

教室では、登米町森林組合で実務実習中の高橋心月さん＝東北農林専門職大2年＝が講師となり、市内産材を使った木琴作りを体験。同森林組合の竹中雅治さんによる木や森についての講話もあり、参加者は楽しみながら森林の大切さを学びました。佐藤依菜さん（7）＝迫町内町＝は「木に糸を通してつなげるのが大変だったけど楽しかったです。これから家で大切に使っていきます」と満面の笑みで話していました。



1本ずつ音を確認めながら、音階順に並べる参加者。最後は全員で「きらきら星」を演奏し、温かな音色が会場に響きました。

商店街に笑顔と活気 みこしとマルシェ六月祭

「六月祭」(同実行委員会主催)が7月19日、一市八日町通り商店街で開かれ、多くの人でにぎわいました。

祭りは、約400年の歴史を持つ「六月祭」の名称を復活させ、地域文化の継承と地域活性化を目的に開催。来場者は、マルシェの出店やステージの音楽などを楽しみながら商店街を散策しました。また、同時開催の「第9回登米市神輿祭」(とめ青年会議所主催)では、4基のみこしが勇ましく練り歩き、沿道から熱い声援が送られました。夕方からは、山車の運行や「宵あかりの参道」と題したろうそくによるライトアップが催され、来場者は幻想的な雰囲気に浸りながら祭りを満喫していました。



地域の歴史と文化を生かした祭りを楽しみに、多くの人が通りを行き交い、会場は終日活気にあふれていました。



わたしが描く夢

尾上 永樹 さん

登米小5年／登米町・館山

将来の夢はプロサッカー選手

ぼくは、兄に憧れたことがきっかけで6歳のころからサッカーをしています。今は、エスペランサ登米FCというチームで活動しています。初めのころは、何も分からず試合にも出られなくて、悔しかったです。2年生の時にゴールキーパーをやり始め、兄とたくさん練習するようになりました。試合に出られた時は、とてもうれしかったです。

5年生になってからは、センターバックにもチャレンジしています。今は、いろんなポジションの動きを覚えることがすごく楽しいです。

好きな選手は、クリスティアーノ・ロナウド選手です。早いドリブルと強烈なシュートがかっこよくて、誰よりも練習することでも有名です。チームメイトも驚くくらい厳しい練習をしているそうです。

ぼくもロナウド選手みたいに、誰よりも努力をして、絶対に諦めない強い気持ちを持つプロサッカー選手になりたいです。

よりそい半世紀

いつまでも仲良く晩酌を

★結婚当時の思い出は

【保弘】大工をしていて、妻の実家の納屋を建てに行ったのがきっかけで結婚したんだ。

【千代子】結婚式の当日が雨で、結婚式をした自宅から近くの披露宴の会場まで相合傘で一緒に歩く予定が、主人だけ先に行っちゃって置いていかれたの。恥ずかしかったのかもね。

★お互いの性格は

【保弘】明るすぎるくらいだよ。ずっとしゃべってるからにぎやかでいいけどね。

【千代子】無口だね。でも、習い事で家を空けることが多いけど理解してくれているの。

★夫婦円満のコツは

【千代子】家にいないで趣味とかを楽しむことかな。2人で家にいるとけんかになるからね。

★現在の楽しみ、これからしたいことは

【保弘】お互いに酒のつまみを作って、2人で晩酌を楽しんでるんだ。これからも晩酌を続けられるように健康でいたいね。



岩渕 保弘 さん(80)

千代子 さん(77)

登米町・下り松／1972(昭47)年5月入籍

わが家のアイドル



阿部 母奈 ちゃん(4カ月)

2026年3月23日生まれ
米山町・森腰
彬奈さんの長女

阿部家のアイドル！
たーっくさん食べてたくましく育ちますように♡



佐々木 心 ちゃん(2歳)

2023年10月12日生まれ
中田町・神畑
大地さんの長女

元気いっぱい♡お兄ちゃんの奏くんと、これからも仲良く、すくすく大きくなってね！

熊谷 心都 ちゃん(1歳)

2025年5月28日生まれ
迫町・駅前
大夢さんの長女

いつもニコニコしていて、バイバイが言えるようになったことちゃん。これからも元気に育ってね！



高橋 真嶺 くん(1歳)

2025年8月1日生まれ
豊里町・下町
隆吾さんの長男

健康第一！いっぱい食べて元気に大きくなってね♡



『やりたい』を体験に」

鈴木 珠実 さん

豊里町・下町



市民リレーエッセイ

登米市で暮らし始めた時、土地勘もなく、市内外の子育て支援センターなどに出向き、お母さん達とのおしゃべりで情報を集めていましたが、同世代の集まりだけではできないことを「これやりたい！誰か教えて！」と思うようになりました。そんな中、杵と臼で餅つきができる機会があり、親子で参加したのが、現在の拠点、登米町の「手のひらに太陽の家」で、その後に「やりたい」を実現するために「手のひらサークルたねるべ」を立ち上げました。

これまで、思いつく限りの「やりたいこと」をじいちゃんばあちゃんや地域の人に助けてもらい、「体験」につなげてきました。そして、大人も本気で楽しみ、その姿を子どもたちに見せてきました。1人ではできないことも、望みを声にすると、シンプルに人と人とはつながっていきると、確信しています。今は活動を続けながら、里山整備もスタートさせました。また、飛鳥未来きずな高校での講師もしていて、高校生の生き生きした姿に刺激を受け、まだまだ、やりたいことは増え続ける一方です。

次号は星 絵里沙さん＝迫町品の浦＝へバトンをつなぎます

情報場

情 報 場

Information

催し

市内の民俗芸能を上演 登米市民俗芸能大会

市内の民俗芸能団体が出演し、神楽やお囃子などを披露します。ぜひご鑑賞ください。

【日時】8月30日(日)午前9時30分～午後3時30分

【場所】水の里ホール・Abetisou(登米祝祭劇場)

【入場料】無料

【問い合わせ】教育委員会教育部文化財文化振興課(文化財文化振興係)

☎ 0220(34)2332

高倉勝子美術館企画展 「手づみ」の記憶

登米町出身の彫金作家、谷関恭子さんが手がけた指輪、

ネックレス、ブローチなどを展示します。

【期間】9月5日(土)～27日(日)

【場所】高倉勝子美術館

【入館料】大人200円、高校生150円、小・中学生100円

【問い合わせ】高倉勝子美術館 ☎ 0220(52)2755

登米懐古館企画展 「伊達の数寄」

「数寄」は「好き」に通じ、風流文雅を好むことを意味します。本展では、登米伊達家・佐沼亘理家に伝わる和歌や書画、茶杓などを紹介します。時代を経て現在に受け継がれる「数寄」に触れてみませんか。

【期間】9月12日(土)～11月29日(日)

【場所】登米懐古館

【入館料】大人400円、高校生

環境教育リーダー 育成講座受講者募集

本市の自然に親しみながら、環境教育および環境保全活動の基礎知識を身に付けることができる学習プログラムです。10月から月1、2回程度、平日に計4回の開催を予定しています。

●第1回講座

【日時】10月2日(金)午後2時～4時

【場所】市役所南方庁舎2階中会議室

【講師】草嶋乃美さん(環境省東北環境局地域生物多様性増進室)、佐藤裕美さん(有有限会社伊豆沼農産取締役)

【受講料】無料

夜間納税相談窓口 (9月・10月分)

【日時】9月24日(木) 10月29日(木) 午後7時まで
【場所】総務部税務課(迫庁舎1階)
【問い合わせ】総務部税務課(徴収対策係) ☎ 0220(22)2169

マイナンバーカード 申請サポート

マイナンバーカードの申請を検討している人は、ぜひ、ご利用ください。予約不要です。

【場所・日時】
①市役所南方庁舎2階 9月2日(水)、16日(水) 午前9時30分～午後3時(午前11時30分～午後1時までを除く)
②市役所迫庁舎3階 9月9日(水) 午前9時30分～11時30分
③市役所中田庁舎1階 9月30日(水) 午前9時30分～11時30分
【問い合わせ】市民生活部市民生活課(戸籍係) ☎ 0220(58)2118

300円、小・中学生200円
【問い合わせ】登米懐古館 ☎ 0220(52)3578

受け継がれる伝統 登米秋まつり・登米新能

●登米秋まつり

延宝3年から351年にわたり受け継がれる祭りを今年も開催。手作りの豪華絢爛な山車が町内を練り歩きます。

【日時】9月19日(土)午後2時～7時/20日(日)午前10時～午後4時

【場所】高倉勝子美術館前観光駐車場ほか

【問い合わせ】登米秋まつり協賛会事務局(登米総合支所市民課内) ☎ 0220(52)5051

●登米新能
【日時】9月19日(土)午後5時～8時

募 集



昨年の登米秋祭りの様子

普通救命講習会 受講者を募集

救急車が到着するまでの間、適切に応急手当をすることで一人でも多くの人の命を

☎ 0220(22)3681

▼みやぎ北上商工会

☎ 0220(34)3255

▼登米みなみ商工会

☎ 0220(55)2331

会社を次世代へ引き継ぐ 事業承継個別相談会

「子どもに継がせたいが、何から手をつければいいのか分からない」「後継者がいない」「会社を売り(買い)たい」といった悩みに対して、国の機関である宮城県事業承継・引継ぎ支援センターの専門相談員が相談に応じます。

【日時】10月16日(金)／午後1時～2時、2時15分～3時15分

【場所】市役所中田庁舎1階101会議室

【対象】市内の中小企業、小規模事業者、個人事業主

【相談料】無料

【申込方法】電話または左記二次元コードから申し込み

【申込期限】10月9日(金)

【問い合わせ】産業経済部地域ビジネス支援課(地域ビジネス支援係) ☎ 0220(34)2706



参加申し込みフォーム「事業承継個別相談会」

市営住宅	住宅入居者を募集
	▶ 迫梅ノ木住宅3-202号(S62年築) 住所＝迫町佐沼字八幡一丁目6番地1 募集戸数＝1戸(2階・3LDK) 家賃月額＝1万9,700円～3万8,700円 駐車場契約なし
	▶ 中田本町住宅11号(H6年築) 住所＝中田町石森字本町73番地 募集戸数＝1戸(2階建て長屋・3DK) 家賃月額＝1万8,200円～3万5,800円 駐車場利用は1台のみ(別途2千円)
	▶ 中田加賀野住宅19号(H5年築) 住所＝中田町石森字加賀野一丁目12番地3 募集戸数＝1戸(2階建て長屋・4DK) 家賃月額＝2万1,200円～4万1,700円 駐車場利用は1台のみ(別途2千円)

※入居資格・要件などの詳細は、住宅都市整備課または各総合支所市民課備え付けの募集要項を確認ください

【申込期限】9月2日(水)※期限厳守・郵送不可

【申し込み】各総合支所市民課、住宅都市整備課

【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(住宅係)

☎ 0220(34)2316

※市営住宅のほかに、定住促進住宅(迫・中田・東和・豊里・石越)も随時募集しています

▼登米中央商工会
【定員】20人
【受講料】無料
【申込期限】9月10日(木)
【申し込み・問い合わせ】
【場所】登米中央商工会館
【内容】創業の心構え、売れるための仕組みづくり、利益計画を立ててみる、事業計画書を作成しよう、市の創業支援制度について、創業者向け融資制度について、個別相談会

「海上保安大学校」 学生採用試験

海上保安庁の幹部職員を養成する「海上保安大学校」の学生採用試験を実施します。

【申込期間】8月20日(木)～9月7日(月)

【試験日】10月24日(土)、25日(日)

【試験場所】仙台市ほか39カ所(宮城県は仙台市のみ)

【受験料】無料

※受験資格など、詳細は「海上保安官採用サイト」を確認ください

【問い合わせ】第二管区海上保安本部総務部人事課(第三人事係)

☎ 022(363)0111



海上保安官採用サイト

ミツバチと多様性を学ぶ 登米市環境出前講座

講義と製作体験を通して、ミツバチの生態や自然界での役割を知り、環境の多様性や生き物の社会性について楽しく学びます。

※市と佐沼地区コミュニティ推進協議会の共催事業です

【停止期間】9月19日(土)午前

0時～24日(木)午前8時30分

【問い合わせ】総務部税務課(納税係)

☎ 0220(22)2169

環境保全のために 下水道に早めの接続を

下水道が整備されている地域では、下水道に接続することで生活排水などによる悪臭や害虫の発生が抑えられ、快適な生活と水路や河川の水質向上につながります。公共用水域をきれいにし、自然環境

【日時】9月6日(日)午前10時開会

【場所】迫公民館2階大会議室

【体験内容】環境に優しいミツロウを使ったクリウム制作(10分程度)、ミツロウの多様な使い方の学習

【講師】宮城県環境教育リーダー 森佳代子さん(合同会社 もものわ)

【材料費】大人千円、中高生500円

【人数】30人(先着順)

【申込方法】電話または左記二次元コードから申し込み

【問い合わせ】迫公民館

☎ 0220(22)7324



参加申し込み「環境出前講座」

友達から始める新しい出会いを見つけませんか

市内の菓子店のスイーツを楽しむながら、友だちから始める独身男女の縁と出会いを深める「スイーツビュッフェ友活」を開催します。当日のカップリング発表はありません。お気軽に参加ください。※マッチングした人は後日、事務局を通して連絡先を伝達します

【日時】10月24日(土)午後1時～4時

【場所】豊里公民館

【対象者】25～45歳(令和9年3月31日時点)の独身男女

※応募者多数の場合は抽選

【参加費】2千円(当日の飲食代を含む)

【申込期限】10月4日(日)

【申込方法】「リビング仙台」ウェブページから申し込み

【問い合わせ】まちづくり推進部市民協働課(地域交通・交流係)

☎ 0220(22)2173



リビング仙台ウェブページ

お知らせ

都市公園の区域変更に関する説明会を開催

迫町佐沼字中江地内の都市公園(愛称「エスファクトリー」東北中江公園、正式名称「迫中江中央公園」)の区域変更案について、市民説明会を開催します。

【補助対象建築物】一般住宅および店舗付住宅

●水洗便所改造資金融資あつせん

くみ取り便所を水洗便所に改造する場合や、し尿浄化槽を取り壊して下水道に直接流す場合の工事資金の融資に對して無利子で借りられるよう、市が利子を負担する制度です。

【融資あつせんの金額】建物1棟当たり120万円以内

※宅内補助金と水洗化の融資あつせん制度を併用する場合は、補助金額を差し引いた額

日程	内 容	問い合わせ
9/6 ㊥	●わくわくマルシェ 【時間】午前10時～午後4時 【会場】小ホール 【入場料】無料	すずきヤンドル ☎ 090(9423)4900
9/11 ㊤ ～13 ㊥	●写団登米写真展 【時間】午前9時～午後6時【会場】小ホール ※最終日は午後5時まで【入場料】無料	写団登米 ☎ 0220(22)7689
9/12 ㊤ 13 ㊥	●劇団ドリーム☆キッズ 第24回ミュージカル公演「も～いいかい？ も～いいよ～いちばん星の約束～」 【開演】12日＝午後6時、13日＝午後2時 【会場】大ホール 【入場料】大人1,200円(友の会割引あり)、 小中高生600円、未就学児200円	水の里ホール・Abebisou ☎ 0220(22)0111
9/19 ㊤	●寛平GMプロデュース公演 新喜劇出前ツアー2026【宮城公演】 【開演】①正午、②午後4時 【会場】大ホール 【入場料】6,500円、小学生以下3,500円 (どちらも友の会割引あり) ※全席指定	水の里ホール・Abebisou ☎ 0220(22)0111
9/21 ㊤ (祝)	●みんなで楽しむクラシック♪ ～仙台フィル・メンバーによる弦楽四重奏～ 【開演】午後2時 【会場】小ホール 【入場料】大人2,000円(友の会割引あり)、 小中学生1,000円、 未就学児無料(要整理券)	水の里ホール・Abebisou ☎ 0220(22)0111
9/23 ㊤ (祝)	●安田智彦オリジナルアルバム「あなたへ」 発売記念コンサート 【開演】①午後2時30分、②午後6時 【会場】小ホール 【入場料】大人2,500円、小中高生1,000円	安田智彦 ☎ 080(5527)2233

※休館日：7日(月)、14日(月)、24日(木)、28日(月)
※入場料は前売り価格
※文化・教育関連のイベントを中心に掲載しています

【日時】9月8日(火)午後6時30分から

【場所】迫庁舎2階大会議室

【問い合わせ】建設部住宅都市整備課(都市整備係)

☎ 0220(34)2316

地震と山火事を想定した 令和8年度総合防災訓練

地震と山火事を想定した訓練を実施します。さまざまな体験型の訓練や、防災用品、災害車両を展示予定です。ぜひご参加ください。

【日時】9月12日(土)午前8時45分～正午(小雨決行)

【場所】東和錦織公民館、東和総合運動公園

【問い合わせ】総務部防災危機対策室(危機対策係)

☎ 0220(23)7393

eLTAX更改に伴う サービス停止

システムの更改に伴い、eLTAXのサービスを一時停止します。停止期間中は、eLTAXおよびeLQR(地方税統一二次コード)を利用した地方税の電子申告・電子納付などの手続きが利用できません。皆さんのご理解とご協力をお願いします。



市下水道事業
キャラクター
水守さん

視覚障がい者 情報交流会を開催

視覚に障がいのある人や、その家族、関係者の交流会を開催します。障害者手帳の所持は問いません。

【日時】9月3日(木)午後1時～3時30分

【内容】「見えなくても使えます」アイフォーンで情報ゲット、懇親会、福祉用具の紹介・体験

※事前申込は不要です

【場所】迫公民館1階研修室

【問い合わせ】

▼宮城県視覚障害者情報センター

☎ 022(234)4047

▼福祉事務所生活福祉課(障がい福祉係)

☎ 0220(58)5552

人と環境への
新しい優しさを目指して
お気軽にご相談下さい

株式会社 清建

TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658

有限会社 清建物流

TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535

有限会社 リースキン宮城

TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495

環境プロバイダ

仙台(営)／〒989-3127 宮城県仙台市青葉区愛子東三丁目7番2号
TEL.022-799-7213 FAX.022-799-7214

南三陸(営)／〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313
TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122

URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp

厚生労働大臣許可 指定居宅サービス事業所

有限会社 はさま看護婦・家政婦紹介所

すずらん保育園

TEL.0220-22-8064 FAX.0220-23-2728

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字中江2丁目21(中江ビル)
【すずらん保育園】TEL.0220-23-8688

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

一日一組限定の特別な空間

萩

セレモニーホール 萩

市民葬祭

誠香社

24時間受付

0220-34-4856(代表)

21 2026.9

To Me 20

9月の納税

固定資産税・・・3期
国民健康保険税・・・4期
介護保険料・・・4期
後期高齢者保険料・・・3期
忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

納期限／9月30日(水)

登米市の人口・世帯数 (令和8年7月末現在)					
地区	世帯数	人口(人)		計	(前月比)
		男	女		
迫	7,787	9,051	9,471	18,522	(▲17)
登米	1,730	1,972	2,137	4,109	(▲3)
東和	2,133	2,482	2,517	4,999	(▲10)
中田	5,330	7,037	7,215	14,252	(▲14)
豊里	2,150	2,831	2,890	5,721	(▲12)
米山	2,755	3,821	3,876	7,697	(▲5)
石越	1,445	1,992	1,975	3,967	(▲10)
南方	2,733	3,704	3,868	7,572	(0)
津山	1,078	1,252	1,388	2,640	(▲2)
合計	27,141	34,142	35,337	69,479	(▲73)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています

市内の交通事故発生状況 (令和8年7月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ			
	R8	R7	増減数
人身事故発生件数	39件	32件	7件
死者数	0人	0人	0人
負傷者数	57人	44人	13人
物損事故発生件数	797件	727件	70件

※R8年1月からの延べ件数(前年同時期と比較)

警察署からのお知らせ

「全ての座席でシートベルト等を必ず着用しましょう」
シートベルト、チャイルドシートは事故の被害を大幅に軽減します。命を守るため、全ての座席で正しく着用しましょう。

7月の災害件数

火災 救急 救助
1件 329件 2件
(31件) (2,110件) (27件)

令和8年累計
前年同月 2件 383件 5件
～9月1日は防災の日です～
突然の災害に備えて、備蓄品や避難場所の確認をしておくことが大切です。

ハローワークはさま発行求人情報

ハローワークはさまで発行している求人情報を掲載
掲載日は祝日を除く毎週火曜日の午後3時です

くらしのなんでも相談会

複数の士業専門家が連携し、税金、遺言相続、行政手続き、空き家問題、土地活用、年金関係、外国人の雇用など、さまざまな課題に関する相談にワンストップで対応します。

【日時】9月15日(火)午前10時～午後4時(予約優先)

【会場】イオンモール石巻1階

社会福祉協議会生活相談のお知らせ

生活に関する不安や悩み、家庭の問題や近隣トラブルなど、困りごとを相談ください。

【日時】9月3日(木)午前10時～11時30分

【場所】▼豊里高齢者趣味の交流館▼石越福祉センター▼南方総合支所

【相談料】無料

【問い合わせ】登米市社会福祉協議会

借金に関する無料法律相談

【日時】9月25日(金)午後1時～3時50分(要電話予約)

【場所】とめ市民活動プラザ

【相談料】無料

【問い合わせ】そ・えーる登米

障がい者の自立に向けて「つ」と相談を開設

障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、職業生活上の問題や悩みの相談に応じます。

【日時】9月29日(火)、午前9時30分、午前11時、午後1時30分、午後3時(要電話予約)

【場所】県東部保健福祉事務所登米地域事務所

寄付

ご寄付いただき、ありがとうございます。ごぞいました。

(6月受納順)

●紅忠コイルセンター東北株式会社様／クリアファイル2千300枚

●藤原彩代様／現金10万円

【問い合わせ】総務部総務課(総務係)

0222(221)6870

②面接相談(要予約)／会場Ⅱ宮城県司法書士会館(仙台市)

【相談料】無料

【②の場合の予約先・問い合わせ】宮城県司法書士会

0222(263)6755

緑の広場

【相談料】無料

【予約・問い合わせ】東北行政事務事業協同組合

070(4377)7399

生活や仕事などの悩み相談に応じます

【日時】①9月8日(火)②24日(木)／午前10時～午後4時

【場所】①新田公民館②米谷公民館

【相談料】無料

【問い合わせ】そ・えーる登米

【担当】柳渕勝一(司法書士)

【相談申し込み】0220(58)2117

【相談料】無料(要電話予約)

【問い合わせ】市民生活部市民生活課(市民総務係)

0220(58)2118

【相談料】無料

※職業のあつせんではありませんのでご注意ください

【申し込み・問い合わせ】障害者就業・生活支援センター「ゆい」

0220(21)1011

住生活基本計画策定に向けた市民意識調査を実施

市は、本市の特性に応じた豊かな住生活の実現に向けて、さまざまな住宅施策を計画的、総合的に推進するために、「登米市住生活基本計画」の策定を進めています。

計画の策定に当たり、住宅施策に関する市民ニーズや意向を反映させるため、住まいに関するアンケートを実施します。調査票が届いた際は、回答に協力をお願いします。

令和8年10月20日現在で、「令和8年社会生活基本調査」を実施します。この調査は、国が実施する統計調査の一つで、5年ごとに生活時間の配分や自由時間における活動状況などを調査するものです。

調査結果は、ワーク・ライフ・バランスの推進や男女共同参画社会の形成などの基礎資料として幅広く活用されます。9月以降に調査員が伺いましたら、調査への協力をお願いします。

※調査票の記入事項は統計以外の目的には使用しません

※調査員は宮城県知事が交付した「調査員証」を携帯します

【問い合わせ】宮城県企画部統計課(人口生活班)

0222(211)2455

生活保護費の追加給付申し込みを受け付け中

広報とめ令和8年8月号(11ページ)でお知らせした「最高裁判決等を踏まえた生活保護費の追加給付」について、過去に生活保護を受給していた世帯の申し出を受け付けています。

【受付期限】令和9年7月30日※必要書類など、詳細は市公式ホームページや広報とめ令

和8年8月号を確認するか問い合わせください

【問い合わせ】

▼最高裁判決を踏まえた保護費の追加給付相談センター

0120(179)445

▼福祉事務所生活福祉課(生活保護係)

0220(58)5552

相談

高齢者・障がい者のための相続・後見・遺言相談会

司法書士が、成年後見・保佐・補助等の法定後見や任意後見・相続・遺言に関する相談に応じます。

【日時】9月12日(土)午前10時から午後4時まで

【相談方法】①電話(予約不要)

Jアラートの緊急情報伝達試験を実施します

全国瞬時警報システム(Jアラート)から送られる武力攻撃などの緊急情報を確実に皆さんに伝えるため、コミュニティFM放送と市メール配信サービス、市公式LINEで情報伝達試験を実施します。

※緊急告知ラジオの放送は、音量つまみの設定にかかわらず最大音量で放送されます

※災害発生などにより中止する場合があります

【日時】8月26日(水)午前11時

【問い合わせ】総務部防災危機対策室(危機対策係)

0220(23)7393

より良い生活のために社会生活基本調査を実施

令和8年10月20日現在で、「令和8年社会生活基本調査」を実施します。この調査は、国が実施する統計調査の一つで、5年ごとに生活時間の配分や自由時間における活動状況などを調査するものです。

調査結果は、ワーク・ライフ・バランスの推進や男女共同参画社会の形成などの基礎資料として幅広く活用されます。9月以降に調査員が伺いましたら、調査への協力をお願いします。

※調査票の記入事項は統計以外の目的には使用しません

※調査員は宮城県知事が交付した「調査員証」を携帯します

【問い合わせ】宮城県企画部統計課(人口生活班)

0222(211)2455

みやぎ県民大学学校等開放講座

市内産のリンゴを使ったジュースづくりを体験してみませんか。

【日時】11月7日(土)午前9時30分～午後0時30分

【場所】登米総合産業高校

【対象者】県内在住の人

【定員】20人

【参加料】無料

【申込期間】9月1日(火)～18日(金)

【申込方法】氏名、性別、年齢、住所、職業、電話番号を記入の上、電子メールで申し込み

【申し込み・問い合わせ】登米総合産業高校農業科

0220(34)4666

☒lomesou@odmynswan.ed.jp

ねんきんだより

年金相談・手続きはぜひご予約を

日本年金機構では、年金相談や年金請求手続きについて、「事前予約」を受け付けています。待ち時間の少ない「予約相談」をぜひご利用ください。予約相談の受け付けは、全国共通の予約専用受付番号のほか、マイナポータルやインターネットからも受け付け可能です

※予約相談希望日の1カ月

前日から前日まで受け付け

※申し込みの際は、基礎年金番号が分かるもの(年金手帳や年金証書など)を用意してください

【予約専用受付電話】0570(05)4890

【問い合わせ】

▼ねんきんダイヤル(給付に関すること)

0570(05)1165

▼ねんきん加入者ダイヤル(加入・免除に関すること)

0570(003)004

▼市民生活部国保年金課(年金医療係)

0220(58)2166

ときめき人

Tokimeki bito



自然の声を聞き 子どもたちに 豊かな未来を

豊里町横町

平井 和也さん

ひらい かずや
1963年生まれ

Profile

大阪府大阪市生まれ。大学進学を機に上京し、会社員として働いた後、海の自然史研究所を設立。南三陸・海のビジターセンター長と石巻・川のビジターセンター長を経て現在に至る。本市では登米市環境教育リーダーとしても活動している。



今年、伊豆沼で開催した子どもキャンプ。環境学習だけでなく人間性や協調性の育成にもつながっている。

「このままだと、子どもたちにはごみを拾い続けないといけない未来が待っている」。そう警鐘を鳴らすのは、NPO法人海の自然史研究所登米クラブハウスで親子向けの自然体験と環境学習を企画・運営する平井さん。

自然体験・環境学習を始める大きな転機となったのは、1998年に沖縄県で発生したサンゴの大規模白化を目の当たりにしたことだった。「何かおかしいことが起きている」と感じ、当時勤めていた会社を辞めて翌99年に沖縄県に移住。海の自然史研究所を設立し、海の保全活動を始めた。その後、東日本大震災の復興支援のため、2013年に登米市に移住。昨年4月に「長年住んでいる登米市のために何かできることはないか」と考え、登米クラブ

ハウスを開所し、市内での活動を本格化させた。

平井さんが大切にしているのは、「楽しかった」で終わるのではなく、子どもたち自身が考え、気づき、答えを言葉にすること。「自分たちで考えて答えが分かったときは、目の輝きが本当に違うんです。その瞬間を見ることが活動の原動力になってます」と、子どもたちの成長に目を細める。

「私は、1999年から海岸清掃の活動を続けていますが、今も25年前とごみの状況は変わっていません。子どもたちのために未来の環境を今より少しでも良くしたいと思って活動しています。今後は、このクラブハウスを子どもたちに開放して学びの場にしたいと考えています。手探りですけどね」。平井さんの未来への挑戦が幕を開けた。

編集後記

▼取材を通して、読み聞かせの時間の大切さを改めて感じました。子どもが小さかった頃を思い出して、10年以上前に何度も読んだ『だるまさん』シリーズの絵本を久しぶりに手に取りました。子どもに見せると、「懐かしい！」と一言。あの時間は、ちゃんと心に残っています。ありがとうございます。(森田)

▼祭りの季節ですが、長引いた梅雨の影響もあってか、荒天の週末が多かった気がします。祭りの裏側では多くの人が何カ月も前から準備を重ねています。そんな皆さんの思いが実を結び、これからの祭りも盛会のうちに終わることを願います。(添田)

▼ときめき人で取材した平井さんの「子どもたちにゴミ拾いをさせない未来を」という思いに胸を打たれました。私も子どもたちの未来のために、自分にできることから始めてみようと思います。夏休みの宿題をため込んでいた私にとって、継続できるか不安しかありません。(高橋)



登米市公式ホームページ
<https://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、市政に関する情報などを配信)
<https://plus.sugumail.com/usr/tome/home>



登米市公式 LINE
(市政、イベント情報などを配信)
<https://line.me/R/ti/p/%40972tqqam>